

研究課題名

未分化型早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の内視鏡的根治度C-2病変における転移・再発危険因子および長期予後に関する研究について

1. 対象となる方

2011年1月1日～2019年12月31日の期間に当院で早期胃癌のため内視鏡治療を受けられた方。

2. 研究の意義・目的

リンパ節転移リスクが低い早期胃癌に対してEndoscopic submucosal dissection; ESDは低侵襲かつ根治が望める手技として確立されてきました。切除した後の病理組織結果でリンパ節転移のリスクが高いと考えられる病変は胃癌治療ガイドライン上、内視鏡的根治度C-2 (eCuraC-2) と定義されています。近年、多数のeCuraC-2症例を集積した多施設研究が行われ、リスク因子に基づいたスコアリングシステム (eCura system) が開発されました。その研究では主たる組織型が未分化型の症例数が少なかったため、主たる組織型がeCuraC-2症例のリスク因子は未だわからない部分も多い状況です。

そこで多くの施設から症例を集め、主たる組織型が未分化型のeCuraC-2症例のリンパ節転移リスクや長期予後を明らかにすることを目的としてこの研究を行います。

3. 研究方法

研究対象者の診療記録から情報を抽出します。

4. 研究期間

研究実施許可日～2028年3月31日

5. 研究に用いる情報の種類

早期胃癌に関する診療記録、外科手術の有無、リンパ節転移の有無、画像所見（内視鏡検査、CT検査、腹部エコー検査）、臨床検査データ（血液）

6. 外部への資料・情報の提供

診療記録から抽出された情報（調査票）は、各医療機関で個人が特定されないよう匿名化されたうえで、有限会社メディカル・リサーチ・サポートに郵送され、解析されます。

7. プライバシーの保護

本研究で取り扱う患者さんの情報は、年齢、性別、早期胃癌に対する内視鏡治

療に関するカルテ情報です。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は一切取り扱いません。本研究で取り扱う患者さんのカルテ情報は、個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。患者さんの個人情報と、匿名化した情報を結びつけるために対応表を作成します。対応表は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に保管し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。研究計画書に定めた期間保管した後、復元できないようにして破棄します。なお、対応表は当院で管理し、外部には公開いたしません。

8. 研究資金および利益相反について

利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受けて、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。本研究は、日本胃癌学会の研究費助成金で実施しておりますが、日本胃癌学会とで利益相反はありません。また、本研究の実施にあたり、分担研究医師が一人株主であるデータセンター会社にデータ管理を委託していますが、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を曲げることはありません。

本院においては、本研究に対する特別な研究資金はありません。本院の研究費のみを使用知って実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け承認を得ております。

9. データの二次利用について

本研究にて収集されたデータは、本研究目的以外に使用しませんが、二次利用を行う可能性があります。別の研究に用いるなどの必要性がある場合には、別途、倫理審査委員会の承認を得てから研究を行います。

10. 本研究の登録および結果の公表

今回の研究で得られた結果は、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。その場合も個人が特定されることはありません。

11. 研究組織

1) 研究代表者

地方独立行政法人北九州市立病院機構 北九州市立医療センター
消化器内科 秋穂 裕唯
〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1-1
TEL 093-541-1831（代表）

2) 共同研究機関

共同研究機関一覧を参照してください。